

ゆ ざわししおどり
湯澤鹿踊

- ◇ 指定日 平成21年2月2日
- ◇ 所在地 小国
- ◇ 保持団体 湯澤郷土芸能保存会

巻物が伝えられ、鹿踊は天照皇太神が天の岩戸からおでましになり、鹿が喜び、踊り跳ねたと云う由来が記されています。嘉永2年(1849年)に尻石^{しりいし}鹿踊が湯澤に伝わったといわれています。明治7年(1874年)には、茂市鹿子踊の演目が伝わり、加えられています。



盆の14日に元太夫や先胴（太鼓打ち）の家、道又家で礼講をして、大圓寺で鹿踊を踊りました。

9月の早池峰新山神社^{しんざん}の例祭では、参道を「通り」を踊りながら神社へ向かい、社堂のまわりを三回まわって拝礼します。

神事と神楽が奉納された後、神社境内で湯澤鹿踊を奉納します。

その後、別当家の庭で本庭を踊っています。